

特別支援学級

1～6年生生活単元学習

ケヤキンピックに ちょうせんしょう! ～オリンピック教育～

番組名 特別支援「ストレッチマンV」

放送回 第3回「タオルでつなひき」1/4
第6回「はことばし」2/4【本時】
第19回「かわをわたろう」3/4

特別支援での運動機能や感覚を楽しみながら養うことができます。ストレッチの習慣づけにも役立ちます。

実践者 武蔵野市立境南小学校 主任教諭 川口 尚人

番組の使い方

活用のねらい

- 番組を視聴することで、本時の活動が一目瞭然でわかる。
- 視聴することで番組と同じ活動がしたくなる。(動機付け)
- ビニール袋を蹴っての的に近づけられるか得点を争うことで、力をコントロールさせるねらいがある。

具体的な手立て

本時の活動の課題提示。まずは視聴させる。ほとんど声かけはしないが、ストレッチの部分だけ、見ながら一緒にやってみる。場合によっては立って体操隊形に開かせたりする必要もある。ストレッチが終わったら元の隊形に戻って視聴を続ける。

視聴後、すぐに同じように実践する。番組で何通りのやり方がある場合はその学級でのルールを話し合ったり教員が提示したりして共通理解した上でグループに分かれて練習する。

授業の概要(2/4時間)

本時の目標

- 初めてのゲームにも興味をもち、主体的に取り組もうとする。
- チームが勝てるようにチームワークを意識する。

•前回の振り返り

- 単元のまとめに「ケヤキンピック」をやることを伝え、今回はその1種目であることを確認する(5分)

番組視聴(10分)

- 真似して一緒にストレッチをする
- 今回の活動内容を知る

学級でのルールを確認する(5分)

- 決まったルールの通りに見本を示す

グループに分かれて練習(15分)

- 教員も均等にグループに分かれる

赤白チームで競技する(10分)

- チームの友達を大きな声で応援するように促す

まとめ・感想(5分)

- アンケートを口頭で質問、挙手で答え、各担任がその人数を確認する

生き生きと学ぶ子どもの姿

番組に集中して視聴、ストレッチの場面では言われる前に自分から真似したり、おもしろい場面では笑ったり、楽しそうな反応がよく伝わってきた。

練習している時の様子が皆真剣で、お互いにゲームを楽しんだり、的に入れるための蹴る際のコツを掴もうとしている様子が見られた。

赤白対抗では、勝てるように一生懸命動き、友達を元気よく応援する姿も見られた。

指導を終えて

番組を見ること自体を楽しみにしており、その後の活動も楽しんでた。ケヤキンピックを楽しみにしている様子も伝わってきた。

授業後のアンケートでは、ほとんどの子が今回のような授業がまたやりたいと回答していた。

